

Slovenia Monthly December 2019



スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2020年1月16日

～12月の主なポイント～

- 内政：** 2020年及び21年予算の成立
開発・戦略事業・結束大臣にムリナル元欧州議会議員が就任
- 外政：** ツェラル外相、茂木外務大臣と懇談
スロベニア・クロアチア国境画定問題：欧州司法裁判所法務官の見解発表
中国外交部長のスロベニア訪問
- 経済：** 安川電機、サーボモーター等の工場建設に向けて新たな土地購入

政治

【内政】

●2020年及び21年予算の成立【2日】

11月22日、国民議会(下院)は賛成49票、反対41票で2020年及び21年予算案を可決したが、11月28日に国民評議会(上院)が、地方自治体への補助金が十分確保されていないことを理由に拒否権を行使した。そのため、予算案は国民議会に差し戻しとなり、成立には国民議会定員の絶対過半数である46票以上の賛成票が必要な状況となったが、12月2日、国民議会は再度予算案に対する採決を行い、賛成48票、反対39票で承認し、予算が成立した。2020年予算は歳入107億7300万ユーロ、歳出103億5800万ユーロ、2021年予算は歳入111億1100万ユーロ、歳出は104億5500万ユーロを見込んでいる。採決に際しては、連立与党議員のほか、野党国民党(SNS)及び少数民族代表の議員が賛成票を投じた。また、野党の民主党(SDS)、新スロベニア(NSi)、左派(Left)は反対票を投じた。

●開発・戦略事業・結束大臣にムリナル元欧州議会議員が就任【19日】

19日、一身上の理由により2019年9月に辞任したプリッチ開発・戦略事業・結束大臣の後任として、ア

ンゲリカ・ムリナル氏が就任した。なお、国民議会における信任投票では、賛成44票、反対43票の僅差となった。ムリナル新大臣は、2014年～19年にオーストリア選出の欧州議員を務めた後、2019年5月の欧州議会選挙では、スロベニアでアレンカ・ブラトゥシェク同盟(SAB)の候補者として立候補したが、落選していた。なお、ムリナル新大臣の任命を巡っては、同大臣がオーストリア国籍保持者で、スロベニア国籍を有していなかったことが任命に際して問題視されていたが、12月13日にオーストリアとスロベニアの二重国籍を保有することに関してオーストリア政府より許可が下り、16日にスロベニア国籍を取得した。



ムリナル開発・戦略事業・結束大臣
(Photo: Nebojša Tejić/STA)

【外政】

●ツェラル外相、セルビアを訪問【2～3日】

ツェラル外相はセルビアを訪問し、2日、ダッチ外相と会談を行った。今回の訪問は、12月17日の両国政府間合同委員会に向けた事前の協議が目的であったが、両大臣はEU拡大及び西バルカン情勢についても意見交換を行った。会談において、ツェラル外相は、スロベニアは西バルカン諸国へのEU拡大を支持している旨述べるとともに、セルビア・コソボ間の対話の継続、法の支配及びメディアの自由を強調した。また、ツェラル外相は、3日、プッチ大統領を表彰し、両者は西バルカン地域の安定維持が両国の利益となる旨一致したほか、プッチ大統領はベルリン・プロセス及びブルドー・プロセスを通じたスロベニアの同地域への積極的な関与を歓迎した。また、プッチ大統領は、農業、観光、インフラの連結性、エネルギー分野等での両国の更なる経済関係促進に期待を表明した。ツェラル外相は、滞在中、ゴイコビッチ議長とも会談した。

●BH大統領評議会メンバー、スロベニアを訪問【4日】

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)の大統領評議会メンバーが、スロベニアを訪問し、パホル大統領と会談を行った。共同記者会見において、パホル大統領は、西バルカン諸国に対するEU拡大への支持を表明し、「EU拡大のモメンタムが失われる危険性があるなか、西バルカン地域は賢明な対応をする必要がある。同地域がEUにとって魅力的な地域であることを発信することが重要である」と述べた。また、二国間関係については、2018年の貿易総額が14億ユーロを記録し、BHにはスロベニア企業約100社が進出し1万5千人を雇用しており、良好な経済関係にある旨強調した。コムシッチBH大統領評議会議長は、BHには同国の現状を理解しているスロベニアという友人がいることは喜ばしいと述べたほか、パホル大統領が「ミニ・シェンゲン」構想を支持していることを歓迎すると述べ、「ミニ・シェンゲン」は西バルカン諸国のEU加盟を代替するものではなく、EUに対して西バルカン地域の関係国が協力し合えることを示すものであると述べた。

●ツェラル外相、イタリアを訪問【6日】

ツェラル外相はイタリアを訪問し、地中海地域及び中東地域の情勢について議論するハイレベル会合「Rome Med 2019」に出席した。ツェラル外相は、同会合で移民問題に関するパネルディスカッションに参加し、「スロベニアは移民問題の解決のために信頼できるパートナーとして引き続き協力する」と述べ、また、「移民・難民の人権尊重等のEU基本的指針に反するいかなる一方的な措置に反対する」との見解を示した。

また、同訪問において、ツェラル外相は、ディマイオ・イタリア外務・国際協力大臣と会談し、両外相はEU全体での移民対策を呼びかけたほか、西バルカン諸国のEU加盟努力に対する支持やEU拡大について共通の認識で一致した。

●スロベニア・クロアチア国境画定問題：法務官の見解に対するスロベニアの反応【11日】

スロベニアが国境画定問題を巡りクロアチアを欧州司法裁判所に提訴している事案に関し、11日、欧州司法裁判所のピカマエ法務官(Advocate General Pikamae)が、本事案は欧州司法裁判所の管轄権に属さないとの見解を発表したことを受け、スロベニア外務省はプレスリリースを発表した。同プレスリリースにおいて、スロベニア外務省は「スロベニア外務省は、欧州司法裁判所の管轄権に係るピカマエ法務官の見解に留意する。スロベニアの提訴は、国際的に拘束力を有する仲裁裁定に直接関連するものではなく、クロアチア側のEU法違反に関するものである。法務官の見解は、欧州司法裁判所に対する拘束力はなく、今後、(欧州司法裁判所の)裁判官が本件に関する検討を開始することになるが、スロベニアは、法務官の見解にかかわらず、スロベニアの法的主張が聞き入れられることを信じている。本件訴訟手続は、スロベニア・クロアチア間の国境画定に係る仲裁裁定が有効であり、両国を拘束するという事実を何ら変えるものではない。スロベニアは、法の支配及び国際裁判所による決定を尊重する国家として、仲裁裁定の履行に必要な法令を採択した。一方で、クロアチアは依然としてこの義務を履行していない」旨のスロベニア側の立場を強調した。

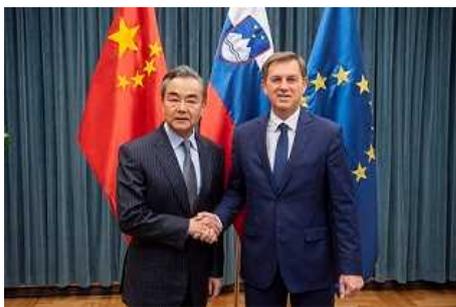


(Photo: www.sloveniatimes.com)

●中国外交部長のスロベニア訪問【14～15日】

14日、スロベニアを訪問した王毅・中国外交部長は、ツェラル外相と会談し、二国間関係、EU中国間協力、「17+1」イニシアティブ等について意見交換を行った。会談後の記者会見において、王外交部長は、国際情勢が大きく変化中、国連を中心とした国際システム、国際法に基づいた国際秩序、WTOを基盤とした多国間貿易システムを維持するため、一

国主義的な行動を退ける具体的な取組等を通じてパワーポリティクスを回避することが重要であると述べた。また、同外交部長は、中国とスロベニアは、文化と歴史、国の規模等で違いがあるが、ともに国際関係における基本的なルールを尊重する国として信頼関係を築いており、両国関係はますます成熟し安定してきている旨述べた。これに対し、ツェラル外相は、中国は大国であり、国連安保理の常任理事国であるほか、EUにとって欠かせない戦略的パートナーであると述べた。また、同外相は、EUと中国は、立場や基準に違いがあるが、こうした違いについてお互いを尊重しつつオープンに議論すべきであり、さらには、両国は共に協力できる分野を模索し、建設的な関係を促進することが重要として、例えば気候変動対策において中国はEUの主要パートナーであると述べた。また、二国間関係について、ツェラル外相は、中国との政治経済協力は増している旨強調した上で、スロベニアにとって中国はアジアにおける最も重要な貿易相手国であり、全体でも13番目に重要な貿易相手国であると述べた。また、ツェラル外相は、2020年にビジネス代表団とともに訪中する旨公表したほか、同年はEU中国首脳会合及び「17+1」首脳会合も開催される予定であり、更なる対話の進展に期待を示したほか、スロベニアとしては、「17+1」において、ウィンター・スポーツにおける中国との協力を主導したい旨、また「一帯一路」におけるコペル港の優位性を強調した。これに対し、王外交部長は、こうした外相会合等を通じて、「一帯一路」、「17+1」、欧州とアジアを連結させるEU戦略及び「三海域協力イニシアティブ」が相乗効果を生み出すことを期待する旨述べた。なお、王外交部長は、今回のスロベニア訪問において、パホル大統領、シャレツ首相及びジダン国民議会議長(下院)とも会談した。



(Photo:スロベニア政府, www.gov.si)

●ツェラル外相、ASEM外相会合に出席【16日】

ツェラル外相はマドリードにおいて開催されたASEM外相会合に出席した。同会合において、ツェラル外相は、グローバルな課題に関する協力、多国間協調主義の促進等の重要性について強調し、スロベニアは引き続き国連の価値観、法の支配及び人権を基にした多国間協調主義を支持する旨の立場を示した。

また、同外相は、平和と持続可能な開発を維持し続けるためには女性の活躍が不可欠である旨及び気候変動対策が最も重要な課題のひとつである旨述べた。

●ツェラル外相、茂木外務大臣と懇談【16日】

ASEM外相会合に出席しているツェラル外相は、同会合の場で、茂木外務大臣と懇談を行い、両者は経済分野での協力、西バルカン情勢、国際場裏における協力を中心に意見交換を行った。また、懇談では、ツェラル外相から、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたスロベニアの準備状況等につき説明した。なお、ツェラル外相は、ASEM外相会合の機会に、茂木外務大臣のほか、ポレルEU上級代表、ミン・ベトナム外相、康・韓国外交部長等とも会談を行った。

●シャレツ首相のセルビア訪問【17日】

シャレツ首相は、スロベニア・セルビア間の政府合同委員会に出席するため、関係閣僚とともにセルビアのノビ・サドを訪問した。合同委員会では、既存の二国間合意の履行に関する確認及び今後の協力促進に向けた協議が行われた。合同委員会後の共同記者会見において、シャレツ首相は、スロベニアは引き続きセルビアのEU加盟努力を支持する旨述べるとともに、EU加盟プロセスは地域の経済的安定を維持する重要な要素であり、プロセスの遅延や停止は深刻な影響を及ぼす旨述べた。一方、ブルナビッチ・セルビア首相は、スロベニアによる政治的・技術的支援に感謝の意を表明し、両国間の協力は政治面においても経済面においても高いレベルに達している旨強調した。また、両首相は、欧州における移民問題等について意見交換を行ったほか、治安強化、農業分野等に関する協力にかかる覚書に署名した。



(Photo: Tamino Petelinšek/STA)

安川電機、サーボモーター等の工場建設に向けて 新たな土地購入

12月9日、吉田大使は、コチェウイェ市において、安川電機とコチェウイェ市間の土地売買契約署名に関する式典に出席し、挨拶を行いました。

2019年4月、コチェウイェ市においてロボット工場の竣工式典を開催したばかりの安川欧州ロボティクスは、同工場に隣接する土地4.5ヘクタールを74万ユーロで購入しました。シュネッケンブルゲル安川ヨーロッパ社長によれば、この土地の約半分を使用して、サーボモーター、コントローラ等のロボット製造部品の生産工場が建設され、また、製品の半分はコチェウイェの工場で製造されるロボットに組み込まれ、その他は欧州地域等で販売される予定とのこと。

式典において、ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣は、「スロベニア政府は、安川電機の投資事業に既に570万ユーロのインセンティブを支出しているが、今後の更なる投資に対しても支援する用意がある」と述べました。



吉田大使は「日本とスロベニアは、過去数年において良好な経済関係を発展させてきた。8月には、河野外務大臣(当時)も訪問した安川電機のロボット工場は、未来志向の投資であるだけでなく、日スロベニア間の協力の象徴」と述べ、安川電機、コチェウイェ市及びスロベニア政府に祝意を表しました。



今後の安川電機による更なる事業展開が期待されます。

経済

【経済一般、指標・統計】

●持続可能な競争力ランキング、スロベニアは13位【13日】

スイスに拠点を置くシンクタンク「Solability」は、世界持続可能な競争力指標を発表した。同指標は、自然資源(Natural Capital)、社会資源(Social Capital)、資源管理(Resource Management)、知的資本(Intellectual Capital)、ガバナンス能力(Governance Efficiency)の5つの柱に関する評価を基に算出されるもので、スロベニアは、53.8ポイントを獲得し、対象180国中13位にランクインした。なお、1位は60.6ポイントを獲得したスウェーデンで、フィンランド(59.5)、アイスランド(57.3)、デンマーク(57.0)、ノルウェー(56.9)が続いている。なお、日本は51.1ポイントで25位となっている。



(Photo: solability.com)

●スロベニア中央銀行、経済成長予測を下方修正【17日】

スロベニア中央銀行は、2019年の経済成長予測をこれまでの3.2%から2.6%、2020年の予測を2.9%から2.5%に下方修正した。また、2021年及び2022年についても、2020年と同様の成長率となることを予測している。中央銀行は、世界経済の成長が当初の予測よりも鈍化している点を下方修正の理由として挙げつつ、ユーロ圏平均を上回るスロベニアの成長予測の理由として、輸出が堅調であることを述べつつ、主要な経済の牽引要因として国内需要を挙げた。

【企業、産業の動向】

●シャレット首相、スロベニアの原子力政策につき言及【12日、16日】

12日、欧州理事会出席のためブリュッセルに到着したシャレット首相は、記者団に対し、欧州理事会においてEUが2050年炭素中立(カーボン・ニュートラル)目標を設定することを期待していると述べ、スロベニ

アは国のエネルギー需要の25%を供給するシヨシュタニ火力発電所の閉鎖無しには炭素中立の目標を達成することはできないとして、それが、スロベニア政府がクルシュコ原発新原子炉建設に関する議論を開始した理由であると述べた。また、16日、シャレツ首相は、議会において、クルシュコ原発新原子炉建設とシヨシュタニ火力発電所の閉鎖を行わなければ、炭素中立目標の達成を実現することはできないとの立場をあらためて表明した。

●イベリア航空、夏季シーズンにリュブリャナ・マドリード便運航の見込み【13日】

ニュースポータル「EX-YU Aviation News」は、2020年夏季シーズンに、スペインの航空会社イベリア航空がリュブリャナ・マドリード便を運行する見込みである旨報じた。イベリア航空は、7月28日より5週間、週4便を運行予定。なお、夏季シーズンにおいては、エア・フランス、アエロフロート、ブリティッシュ・エアウェイズ、モンテネグロ・エアラインズ等の航空会社も増便することが見込まれている。



(Photo: Xinhua/STA)

●シャレツ首相、新航空会社設立の可能性を否定【16日】

シャレツ首相は、記者団に対し、アドリア航空破産後の政府の対応につき言及した。シャレツ首相は、現時点においては新航空会社設立のリスクは高いと述べ、政府が全てまたは一部を所有する新航空会社の設立の可能性は極めて低いであろうと述べた。

軍事・治安情勢・危険情報

●政府、テロ・過激主義防止戦略文書採択【5日】

政府は、テロ及び暴力的過激主義防止のための国家戦略文書を閣議決定した。同戦略文書は、宗教的・民族的・思想的等のいかなる動機であっても、テロ及び暴力的過激主義を強く非難するとのスロベニア政府の立場に基づいて作成されたもので、テロ及び暴力的過激主義に対するスロベニアの対応及び対抗措置を設定するとともに、テロの脅威から市民の安全を確保すること等を目的としている。同文書は、防

止策に重点が置かれているほか、テロ・過激主義に対して最も脆弱性の高いグループに焦点をあてている。

●シャレツ首相、バルカン地域駐留のスロベニア軍を激励【9日～10日】

シャレツ首相は、9日及び10日にかけて、ドレンツ国防副大臣及びエルメンツ軍参謀総長とともに、ボスニア・ヘルツェゴビナ及びコソボに駐留するスロベニア軍兵士の激励訪問を行った。激励訪問を終え、シャレツ首相は記者団に対し、両国に駐留するスロベニア軍は素晴らしい業務を行っており、尊敬を集めていると述べ、国際ミッションに参加するスロベニア軍兵士を高く評価した。



(Photo: Anže Malovrh/STA)

東京2020大会に向けて ～アステラス製薬のパラリンピックスポーツ紹介イベント～

12月22日、アステラス製薬によるパラリンピックスポーツを紹介するイベントが行われ、吉田大使が出席しました。



今回のイベント「Tokyo before Tokyo」は、クリスマスの恒例チャリティイベントとアステラス製薬のモットー「明日は変えられる」を記念する日を統合したもので、スロベニア・パラリンピック委員会と協力して、また、社員ボランティアが20ユーロずつ寄付をして実現しました。今回の寄付は、社会的に困窮する若者や家族を支援する団体「ZPM Moste」に供与されます。

吉田大使は、開会式において、「このようなチャリティイベントに参加でき光栄です。パラアスリートとともに、スポーツできることを嬉しく思います。難しい試合もあるかと思いますが、フェアプレーの精神で、何より皆さんとスポーツを楽しみたいと思います」とスロベニア語で挨拶を述べました。



小学校で行われた今回のイベントには、車いすダンス、車いすバスケットボール、シットイングバレーボール、パラ卓球等のスロベニア代表チームの選手を含む約20名のパラアスリート、20名のアステラス製薬ボランティア等が参加し、見学した児童からも多くの歓声を送られました。



社会・文化・スポーツ

●ドンチッチ選手、スポーツ・イラストレイテッド誌の「Breakout of the Year」に選出【6日】

NBAのダラス・マーベリックスに所属するバスケットボール選手、ルカ・ドンチッチ選手が、米誌スポーツ・イラストレイテッド誌 (Sports Illustrated) により、「Breakout of the Year」に選出された。2018年にNBAデビューを果たしたドンチッチ選手は、2019年10月及び11月には西カンファレンスの月間MVPにも選ばれている。

●気候変動パフォーマンス・インデックス、スロベニアは44位【10日】

ドイツの「ジャーマン・ウォッチ」等の環境NGOが共同発行している「気候変動パフォーマンス・インデックス (CCPI)」が発表され、スロベニアは前年よりひとつ順位を落とし、44位との結果となった。同インデックスは、57か国とEU全体を対象にしたもので、スロベニアは、温暖化ガス排出で40位、エネルギー使用で42位、気候戦略で45位、再生可能エネルギー戦略で46位等の評価となった。ランキングでは、どの国も気候変動抑制に関するパリ協定で定められた目標達成には十分ではないとの評価により、1位から3位は空欄とされ、4位スウェーデン、5位デンマーク、6位モロッコ、7位英国、8位リトアニアとの結果となった。なお、EUは22位、日本は51位、米国は最下位の61位となっている。

●欧州文化首都指定に向けた取組【12日】

政府は、2025年にスロベニアの都市が欧州文化首都に指定される予定であることを受け、その準備支援策として2021年～26年の期間に約1000万ユーロの予算を割り当てる方針を閣議決定した。2025年欧州文化都市については、これまでリュブリャナ、クラニ、ノヴァ・ゴリツァ、ピラン、レンダヴァ、プトゥイ等の都市が関心を示しており、今後、文化省は指定に向けた選定作業を行い、決定は2020年末となることが見込まれている。なお、これまでに欧州文化首都となったスロベニアの都市は2012年にポルトガルのギマランイスと共に指定されたマリボルのみで、2025年についてはスロベニア及びドイツの都市が欧州文化首都に指定される予定となっている。

●2019年にスロベニアにおいてGoogleで最も検索されたワード【13日】

Googleは、2019年にスロベニアで最も検索されたワードを発表し、最も検索されたのは、スロベニア出身のNBAバスケットボール選手の「ドンチッチ (Dončić)」であることが明らかになった。そのほか、2019年に崩壊30年を迎えた「ベルリンの壁」、欧州

の音楽祭「ユーロビジョン」等が多く検索されたワードであった。

●人間の自由度調査:スロベニアは35位【18日】

人間の自由度指標が発表され、スロベニアは7.97ポイントで、前回調査より1つ順位を上げ、対象162か国・地域中35位となった。スロベニアは、法の支配、安全、移動、宗教、表現・情報等を基準とした「個人の自由 (Personal Freedom)」では、8.78ポイントで全体の23位となったが、政府の規模、法制度、貿易の自由、規制等を基準とした「経済の自由 (Economic Freedom)」では、7.15で全体の67位であった。同調査で全体1位となったのはニュージーランドで、以下5位までスイス、香港、カナダ、オーストリアとなった。なお、日本は個人の自由が28位、経済の自由が17位で全体では8.28ポイントで、前回調査より順位を2つ下げて25位であった。



(Photo: Anže Malovrh/STA)

スロベニア紀行

Srečno novo leto（スロベニア語で「明けましておめでとうございます」）！

2020年最初の寄稿は、スロベニアで年末年始をはじめお祝いの際、伝統的に食べられているケーキ「Potica(ポティツァ)」について。

スロベニア人にとって定番かつ誰もが愛している一番人気のケーキであり、お祝いの時だけでなくゲストが来た時のおもてなしとしてなど、様々な場面で焼くそうです。年末にスロベニアの友人からPoticaを送ってもらい、新年のお祝いにいただく機会に恵まれました。



大まかな作り方は、まずベースとなる小麦粉、卵、砂糖などを混ぜて発酵させて生地を作ります。生地が出来上がったら、ここに種々のナッツを加えます。それを巻き上げて、Potica用の焼き型があるのでそこに詰めて、オーブンで焼き上げたら出来上がり。

とてもシンプルだけれど、各家庭ではおばあちゃんからお母さん、お子さんと代々作り方が伝えられ、それぞれの家ごとに隠し味があったり、生地に加えるものがナッツ以外だったり、その種類は家庭の数だけあります。

スロベニアの公式ウェブサイト「I Feel Slovenia」をはじめ、レシピはwebから色々見つけることが出来るので、スロベニアに関心を持ってくださっている皆さん、ぜひ作ってみてください！

食べてみてとても美味しかったので、近々ぼくも一度作ってみようかと思っています。上手に出来たらアップしますので乞うご期待！

と、今年もスロベニアにまつわる様々な体験や情報を発信していきますのでお楽しみに！

宮地藤雄 (ミヤチフジオ)

2013～19 マウンテンランニング日本代表

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282, Fax: +386-1-251-1822, Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当て、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧ください。

http://www.si.emb-japan.go.jp/Living_in_Japan.html

【領事班からのお知らせ】

●在留状況確認調査: 協力依頼(調査メール)

在留届を提出していただいた方々に、調査メールを送信させていただきます。目的は、海外において災害や緊急事態等が発生した際に、在留邦人の皆様の安否確認や必要な情報を提供する等のための連絡が迅速に行えるよう、届出内容を確認させていただくものです。ご協力をお願い申し上げます。

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。

(※インターネットでの提出が便利です。→ <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)

●「たびレジ」をご利用ください！

「たびレジ」とは、海外に行かれる方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。海外旅行や海外出張をされる方は、是非登録してご活用下さい。

●国境を越えて旅行する場合は、旅券を携行してください。

シェンゲン協定参加国間の移動では、空港や国境での出入国審査が廃止されているために、事実上日本人も旅券の審査なく他国へ入国できますが、旅券を携行していなかったことから罰金も科された事例もありますので、国境を越えて旅行する場合は、必ず旅券を携行して下さい。

●中東地域における緊張の高まりに関する注意喚起: 民間航空機の運航について

1月8日にイランがイラク国内にある米軍基地等に対しミサイル攻撃を行ったことを受け、同日、米国連邦航空局はイラク、イランの領空とペルシャ湾及びオマーン湾上空を航空制限区域として設定し、米国系民間航空機の航行を禁止しました。また、中東地域を航行する他の民間航空機もイラン上空を迂回する措置をとるなど運航に影響が出ていますので、中東地域に滞在している方や、今後中東地域への渡航を予定されている方は、利用する航空機の運航状況を確認するなど、関連情報の収集に努めてください。

【広報文化班からのお知らせ】

●着物着付レクチャー・デモンストレーション

着物着付師の今泉あい子氏をお招きし、1月28日～31日の間、スロベニア各地でレクチャーとデモンストレーションを開催いたします。皆様お誘い合わせの上、是非お越しください。

【日程(予定)】

1月28日(火)17時から、コチエウイエ市

1月29日(水)18時から、スロベン・グラデツ市

1月30日(木)19時から、ブルダ市

1月31日(金)16時から、イリルスカ・ビストリツァ市

* 詳細は当館 HP もしくはフェイスブックをご確認ください。

●アイスホッケー日本代表チーム来訪

アイスホッケー男子日本代表チームがスロベニアでオリンピック予選を行います。30名の選手団と、日本からも応援団が来訪する予定です。お時間ある方は是非、応援に駆けつけてください！

試合日程:2月6日(木)から9日(日), 初戦は6日15時半から

場所: Arena Podmežakla, Jesenice

<https://www.iihf.com/en/events/2020/ogqp1g>

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Ambassy.of.Japan.in.Slovenia/>